

## 小児の事故マップの作成

(分担研究：小児の事故とその予防に関する研究)

田中哲郎

**要約：**わが国における小児の事故の地域性を検討するために都道府県別の事故マップを作成して検討を行った。その結果、子どもの事故について、死亡率の高い県と低い県の差は年齢階級により多少異なるものの2.6～3.9倍の差がみられた。また、大都市圏のみられる都府県では死亡率が低い傾向にあった。その理由は救急医療体制と保護者の事故に対する認識の高いことなどが考えられたが結論は出せなかった。目標設定に際しては、子どもの事故による死亡率が高い県は少なくとも全国平均にまで下げることが大切と考えられた。これにより10年間で0～14歳で2,134人が救命可能であると試算された。今後は5年毎に目標を設定し、事故防止効果があったかをチェックするのが望ましいと考えられる。

**見出し語：**小児、事故、目標設定、事故防止、事故マップ、地域差、死亡率

### はじめに

平成9年4月より母子保健事業の実施は市町村に委譲される。

これにともなって、地域における母子保健の評価も中央より身近な市町村などが実態を知った上で、事業内容や事業効果を評価することが求められることとなる<sup>1)</sup>。

子どもの事故の問題も地域における特性がみられることが想像される。例えば乳幼児の浴槽での溺水問題においても、地域により入浴方法が異なることが明らかにされ、溺水防止指導も細かく行う必要がある<sup>2)</sup>。また、事故により死亡率、入院率、外来受療率などにも差がみられると思われる

ことより、都道府県別の事故マップを作成し地域差について検討を行った。更に、もし最も事故死亡率の高い県が平均値並まで改善された場合に救命される人数などについても試算した。

### 方法

厚生省大臣官房統計情報部が報告書に記載せず保管している都道府県別、年齢階級別の人口動態統計を使用した。

死亡率は都道府県別、年齢階級別にみると、死亡数は少なく年によりばらつきが大きいと考えられたので、今回は昭和60年より平成6年までの10年間の平均値を使用した。

都道府県別、年齢階級別の人口は平成2年の国

---

東京医科大学八王子医療センター  
(Tokyo Medical College Hachioji Medical Center)

勢調査の人口を使用して、人口10万対の死亡率を算出した。

入院受療率、外来受療率は平成6年患者調査<sup>3)</sup>の数値を使用した。

## 結 果

### 1. 都道府県別不慮の事故死亡率

昭和60年より平成6年の10年間の都道府県別の事故死亡率を表1～表4に示した。

#### (i) 0 歳

事故による死亡率が最も低かったのは栃木県19.59であり、次いで山形県19.97、京都府21.52、東京都22.51、長野県22.83であった。一方、事故による死亡率が高かったのは石川県49.86で、次いで山口県49.16、福島県46.86、大分県45.10、徳島県45.04であった。

全国平均は30.9であった。

#### (ii) 1～4歳

事故による死亡率が最も低かったのは東京都7.22、次いで神奈川県8.01、大阪府9.65、沖縄県9.88、京都府10.15であった。一方、事故による死亡率が高かったのは佐賀県28.02、福井県22.79、長崎県22.26、鳥取県21.58、大分県21.54であった。

全国平均は14.31で、佐賀県は東京都の3.8倍以上の高値であった。

#### (iii) 5～9歳

事故による死亡率が最も低かったのは東京都4.22、次いで神奈川県4.82、京都府5.36、大阪府5.49、奈良県5.51であった。一方、事故による死亡率が高かったのは鳥取県11.46、香川県10.96、石川県10.47、福島県10.29、青森県10.22の順であった。

全国平均は7.19で鳥取県は東京都の2.7倍以上の高値であった。

#### (iv) 10～14歳

事故による死亡率が最も低かったのは宮崎県2.19で、次いで富山県2.26、東京都2.37、神奈川県2.74、千葉県2.76であった。一方、事故による死亡率が高かったのは埼玉県7.97、秋田県6.57、岡山県5.15、山口県5.14、茨城県4.94であった。

全国平均は3.46で、埼玉県は宮崎県の3.6倍以上の高値であった。

### 2. 死亡事故、入院受療率、外来受療率

入院受療率、外来受療率は0～4歳、5～14歳に年齢階級の数値が発表されているので都道府県別の数値を表5、表6に示した。

死亡率1に対する入院受療率、外来受療率についても計算した。これによると死亡率、入院受療率、外来受療率の間には明らかな関係はみられなかった。

### 3. 事故対策により救命可能な人数の試算

もし、わが国において事故が減少し、最も少ない県なみになればどの位の子どもが救命されるかについて試算を行った。

0歳では栃木県なみの死亡率19.59に全ての県がなれば0歳で1,380人、1～4歳で東京都なみの7.22となれば3,744人、5～9歳で最も低い東京都なみに4.22となれば2,219人、10～14歳で宮崎県なみの2.19になれば1,085人の合計8,428人が10年間に救命可能である。

一方、全ての県が最も低い県なみになることが望ましいが、少なくとも平均より高い死亡率の県が平均値なみになるとして試算すると10年間で0歳301人、1～4歳999人、5～9歳574人、10～14歳

206人の合計2,134人が救命されると試算された。

## 考 察

事故防止を考える際に、都道府県別についての検討を行うことは重要である。

以上のことより都道府県別の事故マップを作成して検討を行った。但し、都道府県別、年齢階級の死亡数はさほど多くないことより、1年間では差が大きいと思われることより、5年または10年間で平均する必要があると考えられた。

今回は10年間で平均して検討を行った。また、死亡率を計算するための分母とした人口は、平成2年の国勢調査人口を使用することとした。

入院受療率、外来受療率は平成5年の患者調査を使用した。入院受療率は調査日に入院していた全ての患者数であり、入院を必要とした患者発生率ではないが、全国同じ条件であり、都道府県別に比率を行うには問題ないと思われた。同様に外来受療率も初診、再診を含めたものである。

死亡率については、低い県と高い県の間に大きな差がみられた。

低い県は大都市を持つ県に多くみられた。しかし、死亡率の低い県が必ずしも入院受療率、外来受療率が低いとは限らなかった。

医療機関の施設数などの影響がみられることも考えられたが、この解釈については今後の検討が必要である。

今回の検討より、大都市域で事故による死亡率が低い理由としては、①大都市域では余り活発な遊びをしない②事故に対する保護者などに理解が行き届いている③救急医療搬送システムの充実や医療機関が多いなどにより事故の死亡率が低いことが考えられたが結論は出せなかった。

また、事故防止を考える際に死亡率の低下を指標とすることが考えられるが、どの数値を目標に置くかについては次の3つが考えられる。

①最も死亡率の低い県なみに減らす②少なくとも高い県が平均値なみまで改善する。③外国における死亡率を目標にするなどが考えられる。

①及び②にすればどのくらいの子どもの救命されるかの試算では①では10年間に8,428人、②では2,134人と試算されており、少子化の現在、事故防止対策が必要とされる。③最も低いスウェーデンなみになれば0～4歳で毎年800人以上が救命されると試算されている<sup>4)5)</sup>。

今回の検討結果より、地域毎に目標を設定し、5年単位でチェックしていくことが望ましいと考えられた。

おわりに

子どもの事故について地域差の有無について検討したところ、率の高い県と少ない県では、年齢階級により異なるものの2.55～3.88の差がみられた。また、少なくとも高い県が平均値なみまで改善されれば10年間で0～14歳で2,134人が救命されると試算された。

今後は5年毎に目標を設定し、事故防止効果があったかをチェックすることが望ましいと考えられた。

## 文 献

- 1) 母子保健事業マニュアル：監修 厚生省児童家庭局母子保健課、平成7年。
- 2) 衛藤 隆：浴室における小児の安全について、平成6年度厚生省心身障害研究、生活環境が子どもの健康や心身の発達におよぼす影響に関する研

究,179-181,平成7年.

3) 患者調査：厚生省大臣官房統計情報部,平成7年.

4) 田中哲郎：乳幼児の不慮の事故によるわが国

の超過死亡数,欧米各国の死亡率を基準としての試算,日本医事新報,3454:32,1990.

5) 田中哲郎：小児の事故防止－国際比較を通してみる－,子どもと家庭,29:36,平成4年.

表1 0歳 都道府県別事故順位

順位	不慮の事故		不慮の溺死		自動車事故		機械的窒息	
	都道府県	率	都道府県	率	都道府県	率	都道府県	率
1	栃木県	19.59	福井県	0.00	岩手県	0.00	栃木県	11.05
2	山形県	19.97	和歌山県	0.00	島根県	0.00	山形県	11.19
3	京都府	21.52	北海道	0.93	高知県	0.00	香川県	13.73
4	東京都	22.51	長野県	0.93	東京都	0.49	富山県	14.04
5	長野県	22.83	東京都	0.98	神奈川県	0.51	京都府	14.07
6	香川県	23.24	石川県	1.00	鹿児島県	0.53	福井県	15.19
7	富山県	23.70	群馬県	1.03	大阪府	0.81	長野県	15.84
8	山梨県	24.44	山梨県	1.16	京都府	0.83	鳥取県	15.91
9	千葉県	25.14	沖縄県	1.18	宮城県	0.86	秋田県	17.05
10	静岡県	25.26	島根県	1.35	埼玉県	1.10	千葉県	18.01
11	宮城県	25.34	青森県	1.40	沖縄県	1.18	宮城県	18.04
12	島根県	25.60	埼玉県	1.41	静岡県	1.34	宮崎県	18.05
13	福井県	25.71	神奈川県	1.53	福岡県	1.47	岐阜県	18.15
14	沖縄県	27.69	大阪府	1.63	奈良県	1.53	東京都	18.48
15	和歌山県	28.03	千葉県	2.06	山形県	1.60	静岡県	18.54
16	新潟県	28.36	愛媛県	2.07	宮崎県	1.64	山梨県	18.62
17	兵庫県	28.78	茨城県	2.10	兵庫県	1.68	新潟県	18.90
18	岐阜県	28.94	三重県	2.25	三重県	1.68	青森県	18.93
19	秋田県	29.61	山形県	2.40	千葉県	1.69	島根県	20.21
20	愛知県	30.07	宮崎県	2.46	大分県	1.70	和歌山県	21.02
21	福岡県	30.36	栃木県	2.51	愛知県	1.84	兵庫県	21.68
22	岩手県	30.69	愛知県	2.55	熊本県	2.12	福岡県	22.61
23	滋賀県	30.97	徳島県	2.57	岡山県	2.13	愛知県	22.84
24	宮崎県	31.19	富山県	2.63	山梨県	2.33	滋賀県	22.86
25	青森県	31.54	岩手県	2.79	長崎県	2.42	愛媛県	23.41
26	鳥取県	31.83	山口県	2.89	広島県	2.45	群馬県	23.71
27	熊本県	31.83	滋賀県	2.95	富山県	2.63	熊本県	23.88
28	群馬県	31.95	静岡県	2.96	愛媛県	2.75	沖縄県	24.16
29	神奈川県	32.25	広島県	3.15	長野県	2.80	岡山県	24.50
30	埼玉県	32.34	兵庫県	3.18	岐阜県	2.94	埼玉県	24.97
31	大阪府	32.64	佐賀県	3.21	石川県	2.99	高知県	25.02
32	愛媛県	33.04	京都府	3.31	和歌山県	3.00	三重県	25.27
33	三重県	33.13	福岡県	3.35	香川県	3.17	長崎県	25.42
34	岡山県	34.09	岐阜県	3.43	鳥取県	3.18	大阪府	25.90
35	長崎県	34.49	宮城県	3.44	佐賀県	3.21	岩手県	26.50
36	高知県	34.75	長崎県	3.63	新潟県	3.29	広島県	26.63
37	広島県	36.79	新潟県	3.70	福井県	3.51	奈良県	27.49
38	北海道	37.95	鹿児島県	3.71	栃木県	3.52	神奈川県	28.04
39	奈良県	38.18	奈良県	3.82	北海道	3.53	北海道	28.47
40	佐賀県	38.49	香川県	4.23	滋賀県	3.69	佐賀県	31.01
41	茨城県	40.62	大分県	4.25	茨城県	3.85	茨城県	31.17
42	鹿児島県	44.04	福島県	4.42	徳島県	3.86	福島県	33.17
43	徳島県	45.04	秋田県	4.49	福島県	3.98	大分県	33.19
44	大分県	45.10	熊本県	4.78	群馬県	4.12	鹿児島県	33.43
45	福島県	46.89	岡山県	5.33	青森県	4.21	徳島県	33.46
46	山口県	49.16	高知県	6.95	山口県	4.34	山口県	35.43
47	石川県	49.86	鳥取県	7.96	秋田県	4.49	石川県	39.89

表2 1~4歳 都道府県別事故順位

順位	不慮の事故		不慮の溺死		自動車事故	
1	東京都	7.22	東京都	1.55	大阪府	2.16
2	神奈川県	8.01	神奈川県	2.41	東京都	2.17
3	大阪府	9.65	京都府	2.68	神奈川県	2.59
4	沖縄県	9.88	大阪府	2.77	高知県	3.04
5	京都府	10.15	三重県	3.33	和歌山県	3.07
6	愛知県	11.61	沖縄県	3.69	島根県	3.28
7	埼玉県	11.67	奈良県	3.75	香川県	3.30
8	徳島県	12.06	千葉県	3.83	沖縄県	3.42
9	千葉県	12.27	愛知県	3.85	富山県	3.43
10	奈良県	12.27	埼玉県	3.97	愛知県	3.51
11	滋賀県	13.12	兵庫県	4.31	奈良県	3.58
12	三重県	13.20	北海道	4.96	京都府	3.83
13	兵庫県	13.91	徳島県	5.17	滋賀県	3.87
14	島根県	14.02	山口県	5.58	兵庫県	3.88
15	群馬県	14.22	群馬県	5.64	新潟県	4.01
16	和歌山県	14.48	和歌山県	5.70	福岡県	4.01
17	高知県	14.91	岐阜県	5.72	徳島県	4.02
18	広島県	15.56	茨城県	5.91	埼玉県	4.08
19	静岡県	15.91	栃木県	5.95	広島県	4.21
20	新潟県	15.94	島根県	5.97	千葉県	4.22
21	富山県	16.13	滋賀県	6.06	愛媛県	4.33
22	福岡県	16.24	広島県	6.32	群馬県	4.47
23	栃木県	16.49	石川県	6.59	岩手県	4.68
24	山口県	16.59	静岡県	6.64	長崎県	4.72
25	長野県	16.63	宮城県	7.21	長野県	4.78
26	茨城県	17.12	福岡県	7.41	岡山県	4.83
27	愛媛県	17.16	岡山県	7.49	静岡県	4.88
28	岡山県	17.51	新潟県	7.55	大分県	5.15
29	山形県	17.54	青森県	7.56	三重県	5.38
30	北海道	17.81	長野県	7.72	山形県	5.55
31	香川県	18.14	愛媛県	7.73	山口県	5.58
32	岐阜県	18.16	鹿児島県	7.74	宮崎県	5.61
33	石川県	18.18	山梨県	7.75	茨城県	5.91
34	宮城県	18.70	高知県	7.91	栃木県	5.95
35	青森県	19.21	福島県	7.94	秋田県	6.07
36	宮崎県	19.37	山形県	8.05	北海道	6.13
37	福島県	19.66	富山県	8.27	鹿児島県	6.19
38	山梨県	19.77	鳥取県	8.63	佐賀県	6.23
39	岩手県	19.85	大分県	8.96	青森県	6.35
40	鹿児島県	20.96	秋田県	9.31	福島県	6.36
41	秋田県	21.05	熊本県	9.46	石川県	6.36
42	熊本県	21.53	岩手県	9.69	岐阜県	6.39
43	大分県	21.54	宮崎県	9.78	山梨県	6.41
44	鳥取県	21.58	福井県	9.81	熊本県	6.51
45	長崎県	22.26	香川県	9.90	宮城県	6.52
46	福井県	22.79	長崎県	10.93	鳥取県	6.83
47	佐賀県	28.02	佐賀県	16.04	福井県	7.95

表3 5～9歳 都道府県別事故順位

順位	不慮の事故		不慮の溺死		自動車事故	
	都道府県	率	都道府県	率	都道府県	率
1	東京都	4.22	東京都	0.57	沖縄県	2.07
2	神奈川県	4.82	神奈川県	0.76	愛媛県	2.24
3	京都府	5.36	栃木県	0.79	東京都	2.32
4	大阪府	5.49	千葉県	1.10	宮城県	2.54
5	奈良県	5.51	大阪府	1.16	京都府	2.65
6	埼玉県	5.80	埼玉県	1.35	奈良県	2.70
7	長野県	6.39	群馬県	1.48	山梨県	2.71
8	静岡県	6.41	京都府	1.49	長野県	2.73
9	千葉県	6.51	長野県	1.64	大阪府	2.76
10	兵庫県	6.61	山形県	1.66	兵庫県	2.85
11	滋賀県	6.64	茨城県	1.71	大分県	2.87
12	愛知県	6.64	愛知県	1.73	徳島県	2.95
13	群馬県	6.73	北海道	1.79	高知県	3.07
14	宮城県	6.88	愛媛県	1.82	富山県	3.13
15	山梨県	6.96	静岡県	1.86	愛知県	3.14
16	沖縄県	7.18	滋賀県	1.93	神奈川県	3.18
17	広島県	7.43	福井県	1.93	埼玉県	3.21
18	愛媛県	7.48	岩手県	2.10	鹿児島県	3.25
19	栃木県	7.63	奈良県	2.11	滋賀県	3.26
20	大分県	7.82	兵庫県	2.12	広島県	3.28
21	山形県	7.92	岡山県	2.12	静岡県	3.34
22	福井県	7.92	広島県	2.13	宮崎県	3.46
23	岩手県	7.95	新潟県	2.15	岡山県	3.48
24	岡山県	7.99	岐阜県	2.26	山口県	3.55
25	和歌山県	8.07	宮城県	2.54	熊本県	3.55
26	富山県	8.11	三重県	2.56	和歌山県	3.57
27	山口県	8.27	山梨県	2.71	岐阜県	3.59
28	福岡県	8.29	福岡県	2.76	群馬県	3.61
29	三重県	8.40	香川県	2.78	山形県	3.70
30	岐阜県	8.59	和歌山県	2.79	福岡県	3.71
31	新潟県	8.59	山口県	2.90	長崎県	3.73
32	鹿児島県	8.62	佐賀県	3.16	三重県	3.83
33	徳島県	8.66	福島県	3.22	福井県	3.86
34	佐賀県	9.32	鳥取県	3.24	千葉県	3.93
35	熊本県	9.33	秋田県	3.25	島根県	3.95
36	北海道	9.40	鹿児島県	3.25	岩手県	4.20
37	高知県	9.42	沖縄県	3.35	新潟県	4.30
38	宮崎県	9.63	青森県	3.47	佐賀県	4.33
39	長崎県	9.79	高知県	3.48	秋田県	4.33
40	秋田県	9.88	大分県	3.52	石川県	4.38
41	島根県	9.97	島根県	3.53	福島県	4.69
42	茨城県	10.03	富山県	3.70	青森県	4.80
43	青森県	10.22	徳島県	3.74	北海道	5.15
44	福島県	10.29	石川県	3.75	香川県	5.24
45	石川県	10.47	熊本県	3.88	栃木県	5.43
46	香川県	10.96	宮崎県	4.32	鳥取県	5.48
47	鳥取県	11.46	長崎県	4.38	茨城県	5.92

表4 10~14歳 都道府県別事故順位

順位	不慮の事故		不慮の溺死		自動車事故	
	都道府県	率	都道府県	率	都道府県	率
1	宮崎県	2.19	佐賀県	0.15	大分県	0.66
2	富山県	2.26	京都府	0.17	山形県	0.69
3	東京都	2.37	奈良県	0.20	宮崎県	0.77
4	神奈川県	2.74	埼玉県	0.28	青森県	0.90
5	千葉県	2.76	大阪府	0.33	富山県	0.95
6	大阪府	2.79	富山県	0.36	東京都	1.12
7	静岡県	2.82	宮城県	0.37	鹿児島県	1.14
8	長野県	2.98	愛知県	0.39	長野県	1.19
9	愛知県	3.03	長野県	0.40	福井県	1.21
10	福島県	3.08	岐阜県	0.40	徳島県	1.24
11	大分県	3.10	滋賀県	0.43	長崎県	1.26
12	滋賀県	3.21	千葉県	0.45	愛媛県	1.30
13	群馬県	3.30	広島県	0.45	静岡県	1.30
14	山形県	3.33	東京都	0.47	福島県	1.35
15	岩手県	3.40	兵庫県	0.53	新潟県	1.35
16	鳥取県	3.41	静岡県	0.53	香川県	1.39
17	京都府	3.41	福島県	0.58	宮城県	1.41
18	福井県	3.45	岡山県	0.60	大阪府	1.43
19	熊本県	3.51	神奈川県	0.60	神奈川県	1.45
20	青森県	3.52	熊本県	0.61	埼玉県	1.50
21	佐賀県	3.61	群馬県	0.63	和歌山県	1.51
22	長崎県	3.62	愛媛県	0.65	兵庫県	1.55
23	新潟県	3.67	新潟県	0.68	愛知県	1.58
24	愛媛県	3.70	福井県	0.69	千葉県	1.59
25	兵庫県	3.70	福岡県	0.73	鳥根県	1.64
26	広島県	3.71	宮崎県	0.77	岩手県	1.65
27	宮城県	3.73	岩手県	0.78	沖縄県	1.71
28	山梨県	3.79	長崎県	0.84	岐阜県	1.73
29	岐阜県	3.93	山梨県	0.86	熊本県	1.75
30	奈良県	3.95	鳥取県	0.91	福岡県	1.78
31	福岡県	4.02	三重県	0.96	広島県	1.80
32	鹿児島県	4.03	栃木県	0.97	高知県	1.81
33	三重県	4.16	茨城県	1.03	滋賀県	1.82
34	栃木県	4.24	石川県	1.03	鳥取県	1.82
35	和歌山県	4.26	山口県	1.10	北海道	1.97
36	沖縄県	4.27	香川県	1.12	群馬県	1.98
37	徳島県	4.44	北海道	1.13	京都府	2.02
38	鳥根県	4.56	鹿児島県	1.22	三重県	2.16
39	石川県	4.64	大分県	1.22	秋田県	2.23
40	高知県	4.87	和歌山県	1.37	山梨県	2.24
41	香川県	4.88	青森県	1.44	佐賀県	2.26
42	北海道	4.89	山形県	1.49	山口県	2.48
43	茨城県	4.94	沖縄県	1.52	栃木県	2.57
44	山口県	5.14	高知県	1.62	石川県	2.58
45	岡山県	5.15	徳島県	1.77	茨城県	2.70
46	秋田県	6.57	鳥根県	2.19	奈良県	2.73
47	埼玉県	7.97	秋田県	2.46	岡山県	3.21

表5 損傷および中毒 (0~4歳)

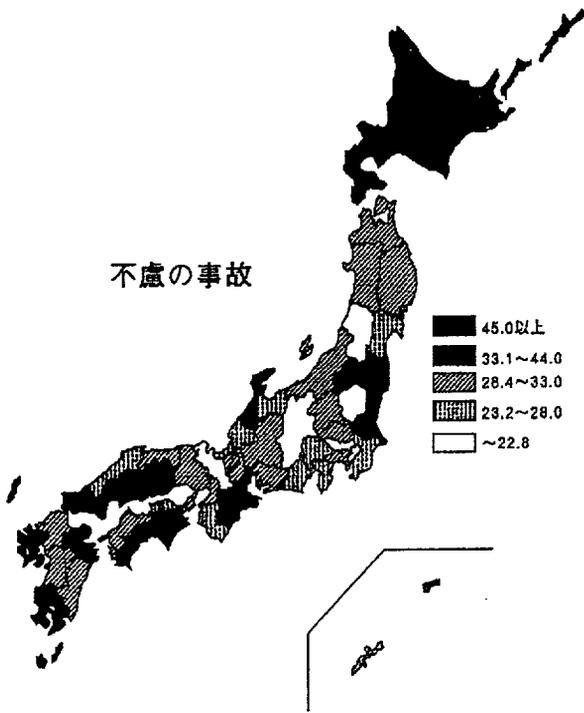
	死亡		入院		外来		死亡	入院	外来
	順位	率	順位	受療率	順位	受療率			
北海道	10	25.91	26	12	42	210	1	0.46	8.11
青森県	19	23.39	9	20	39	223	1	0.85	9.53
岩手県	14	24.91	27	12	32	254	1	0.48	10.20
宮城県	22	22.47	23	13	17	310	1	0.58	13.80
秋田県	9	25.92	44	3	26	270	1	0.12	10.41
山形県	33	19.59	7	21	40	219	1	1.07	11.18
福島県	4	27.00	32	10	37	226	1	0.37	8.37
茨城県	16	24.70	28	11	46	173	1	0.45	7.00
栃木県	31	19.99	37	8	19	295	1	0.40	14.76
群馬県	30	20.10	41	6	38	225	1	0.30	11.20
埼玉県	40	18.43	24	13	16	311	1	0.71	16.87
千葉県	42	17.50	33	10	45	192	1	0.57	10.97
東京都	47	12.12	35	9	23	280	1	0.74	23.11
神奈川県	45	15.63	14	16	28	262	1	1.02	16.76
新潟県	32	19.83	16	15	33	246	1	0.76	12.40
富山県	37	19.02	2	36	29	262	1	1.89	13.78
石川県	5	26.84	43	4	36	227	1	0.15	8.46
福井県	12	25.06	17	15	31	257	1	0.60	10.25
山梨県	18	24.55	38	8	18	308	1	0.33	12.55
長野県	28	20.98	42	6	43	208	1	0.29	9.92
岐阜県	20	22.99	45	3	44	208	1	0.13	9.05
静岡県	29	20.62	39	8	21	287	1	0.39	13.92
愛知県	43	17.21	19	14	3	398	1	0.81	23.12
三重県	39	18.47	18	15	41	211	1	0.81	11.42
滋賀県	41	18.22	34	10	27	268	1	0.55	14.71
京都府	46	15.16	11	18	4	398	1	1.19	26.25
大阪府	38	18.55	40	7	1	401	1	0.38	21.62
兵庫県	34	19.53	6	22	30	261	1	1.13	13.37
奈良県	35	19.51	25	13	35	231	1	0.67	11.84
和歌山県	26	21.59	29	11	15	313	1	0.51	14.50
鳥取県	6	26.69	46	0	9	347	1	0.00	13.00
島根県	36	19.29	30	11	22	284	1	0.57	14.72
岡山県	17	24.61	3	33	10	347	1	1.34	14.10
広島県	21	22.64	20	14	7	362	1	0.62	15.99
山口県	11	25.61	10	20	14	322	1	0.78	12.57
徳島県	27	21.13	47	0	5	391	1	0.00	18.50
香川県	23	22.16	5	25	20	292	1	1.13	13.18
愛媛県	15	24.87	21	14	8	358	1	0.56	14.39
高知県	24	21.97	1	54	13	331	1	2.46	15.07
福岡県	25	21.96	4	33	2	399	1	1.50	18.17
佐賀県	1	32.09	12	17	6	373	1	0.53	11.63
長崎県	8	26.26	22	14	12	338	1	0.53	12.87
熊本県	7	26.40	31	11	24	277	1	0.42	10.49
大分県	2	28.65	36	9	34	233	1	0.31	8.13
宮崎県	13	24.92	13	17	11	346	1	0.68	13.89
鹿児島県	3	28.01	15	16	25	271	1	0.57	9.67
沖縄県	44	16.47	8	21	47	131	1	1.27	7.95

表6 損傷および中毒 (5~14歳)

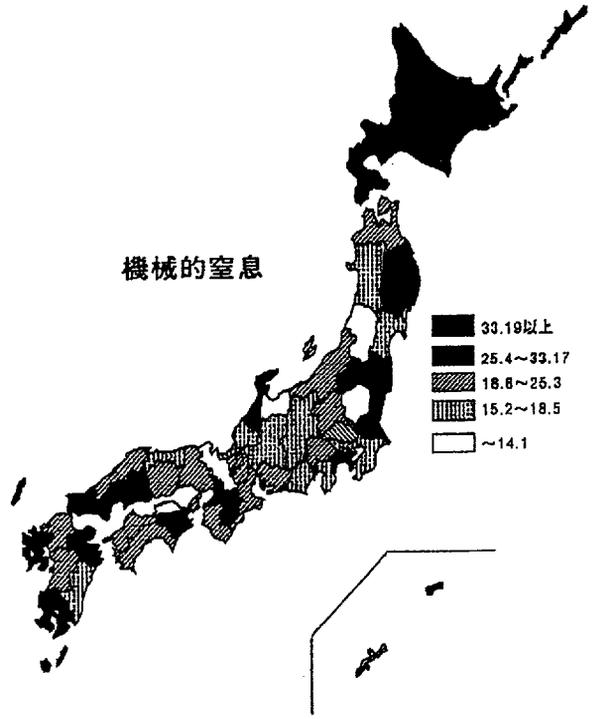
	死亡		入院		外来		死亡	入院	外来
	順位	率	順位	受療率	順位	受療率			
北海道	5	8.24	23	21	35	236	1	2.55	28.63
青森県	9	7.95	29	19	29	251	1	2.39	31.56
岩手県	23	6.92	2	47	25	269	1	6.79	38.85
宮城県	36	5.87	7	33	19	287	1	5.62	48.87
秋田県	2	9.18	47	10	46	194	1	1.09	21.14
山形県	33	6.23	24	21	20	286	1	3.37	45.93
福島県	14	7.53	16	24	36	233	1	3.19	30.94
茨城県	7	8.11	17	24	30	251	1	2.96	30.95
栃木県	24	6.90	30	18	5	391	1	2.61	56.67
群馬県	29	6.53	18	23	28	257	1	3.52	39.39
埼玉県	45	4.89	36	15	33	245	1	3.07	50.11
千葉県	42	5.52	40	13	42	209	1	2.35	37.86
東京都	47	4.36	31	18	24	271	1	4.13	62.13
神奈川県	46	4.73	25	21	26	265	1	4.44	56.06
新潟県	22	6.95	45	11	41	211	1	1.58	30.36
富山県	43	5.51	26	20	12	351	1	3.63	63.67
石川県	6	8.19	10	32	31	249	1	3.91	30.39
福井県	34	6.20	37	15	15	336	1	2.42	54.21
山梨県	35	6.10	43	12	43	208	1	1.97	34.09
長野県	37	5.83	27	20	34	243	1	3.43	41.66
岐阜県	25	6.87	41	13	39	222	1	1.89	32.32
静岡県	40	5.60	42	13	45	205	1	2.32	36.64
愛知県	38	5.74	38	14	14	340	1	2.44	59.22
三重県	20	7.08	39	14	8	373	1	1.98	52.68
滋賀県	31	6.30	20	22	21	280	1	3.49	44.46
京都府	44	5.40	28	20	7	380	1	3.70	70.35
大阪府	39	5.62	14	29	6	389	1	5.16	69.22
兵庫県	32	6.25	32	18	22	278	1	2.88	44.46
奈良県	41	5.54	44	12	11	353	1	2.17	63.71
和歌山県	16	7.43	46	11	38	223	1	1.48	30.01
鳥取県	11	7.73	21	22	37	231	1	2.85	29.89
島根県	4	8.35	11	31	32	248	1	3.71	29.68
岡山県	8	7.99	33	18	1	480	1	2.25	60.08
広島県	30	6.43	22	22	16	335	1	3.42	52.11
山口県	13	7.62	12	31	3	427	1	4.07	56.02
徳島県	10	7.84	15	26	27	260	1	3.32	33.17
香川県	1	9.41	8	33	10	363	1	3.51	38.57
愛媛県	28	6.69	34	18	40	213	1	2.69	31.83
高知県	3	9.12	5	34	13	351	1	3.73	38.51
福岡県	18	7.42	9	33	18	303	1	4.45	40.83
佐賀県	19	7.35	4	39	23	272	1	5.30	37.00
長崎県	17	7.43	1	56	2	429	1	7.54	57.74
熊本県	12	7.69	6	34	17	328	1	4.42	42.65
大分県	21	7.00	19	23	9	364	1	3.28	51.97
宮崎県	26	6.85	3	46	4	396	1	6.72	57.83
鹿児島県	15	7.46	35	16	44	206	1	2.14	27.61
沖縄県	27	6.76	13	30	47	146	1	4.43	21.58

0 歳 事故マップ

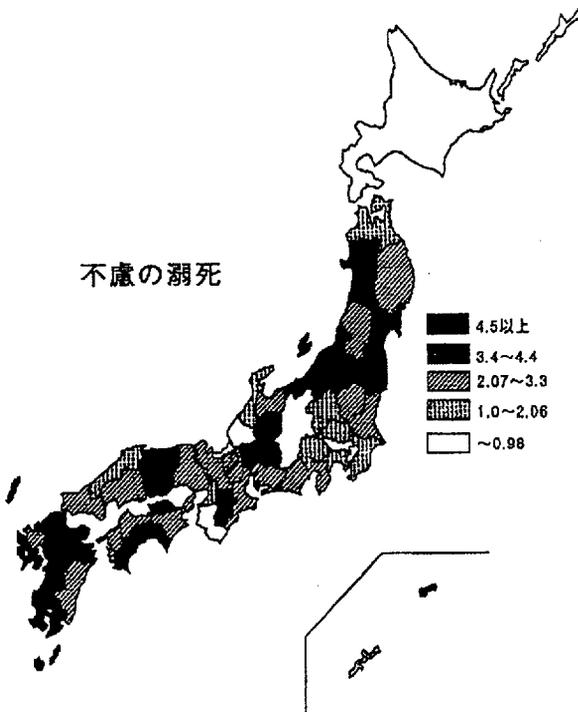
不慮の事故



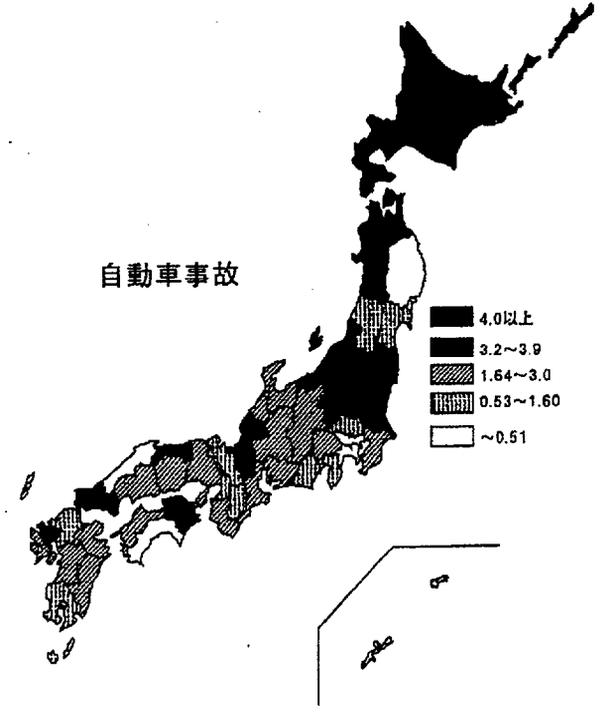
機械的窒息



不慮の溺死

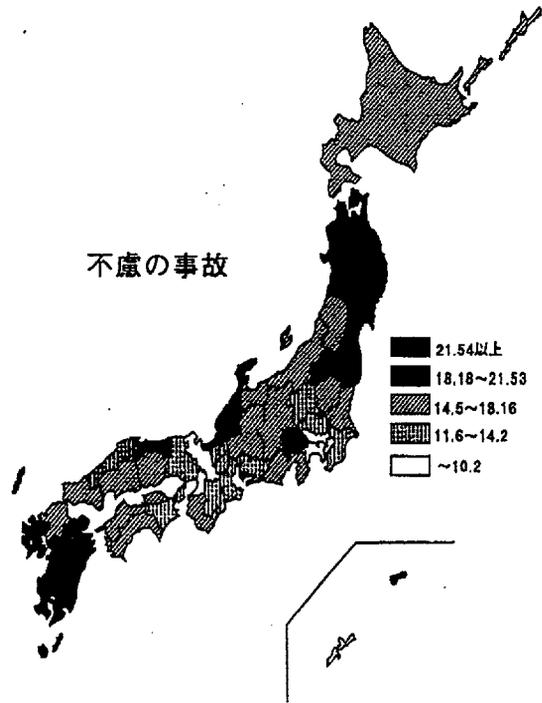


自動車事故



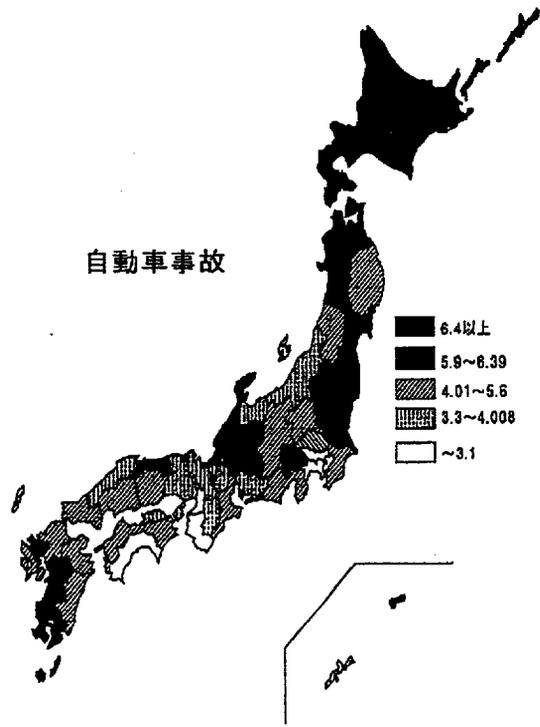
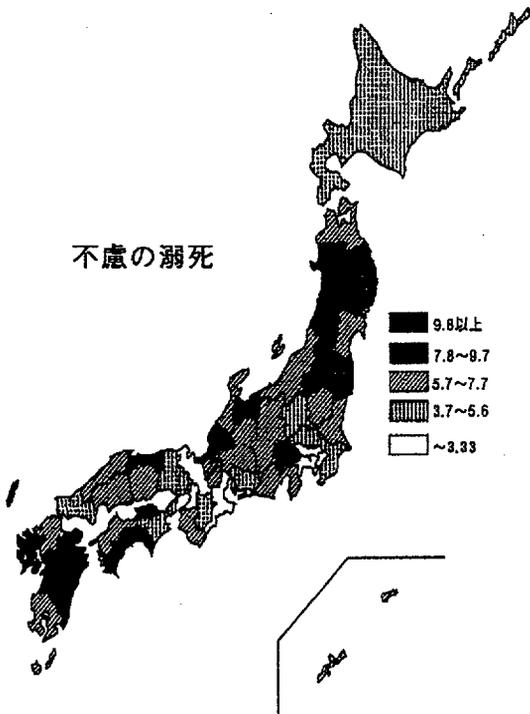
1~4歳 事故マップ

不慮の事故



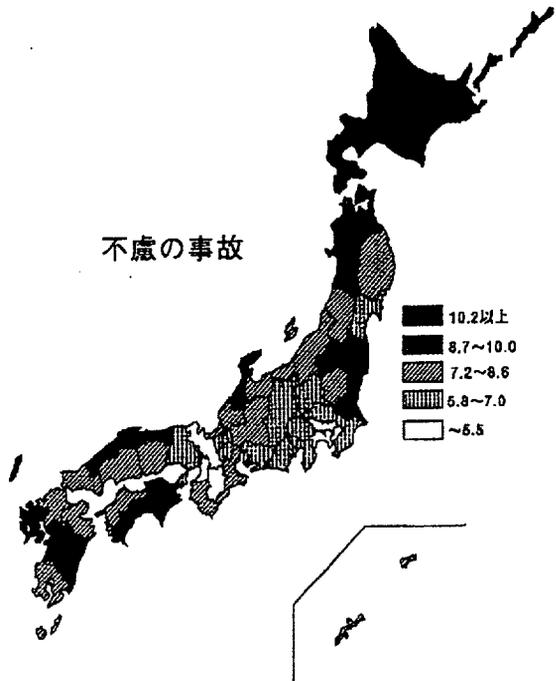
不慮の溺死

自動車事故

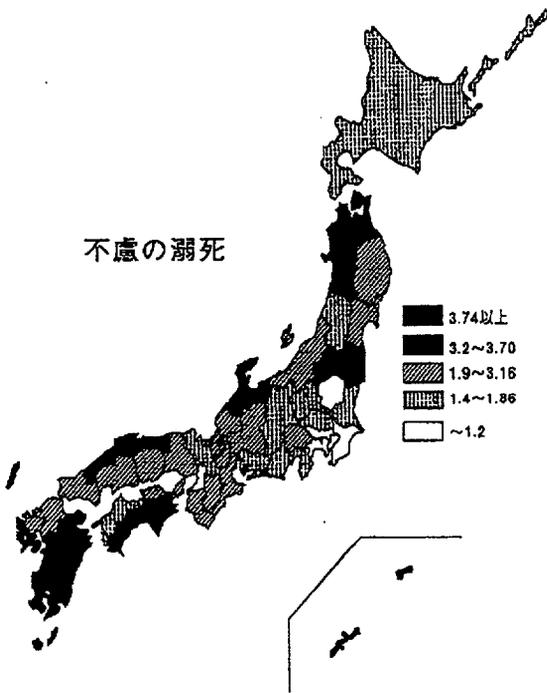


5～9歳 事故マップ

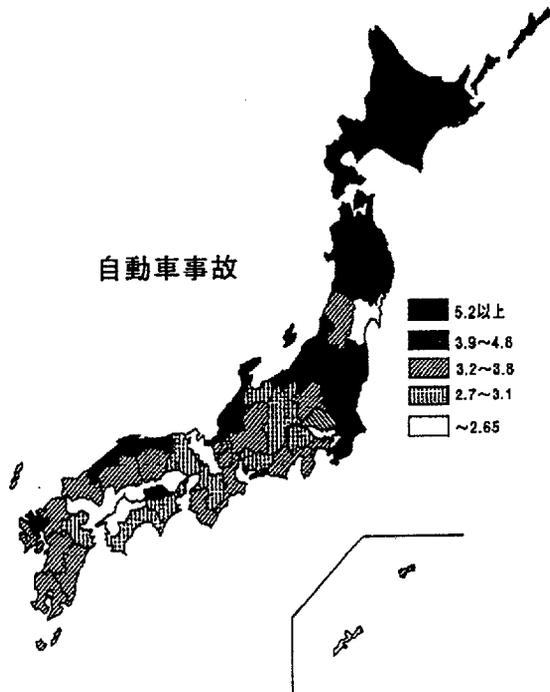
不慮の事故



不慮の溺死

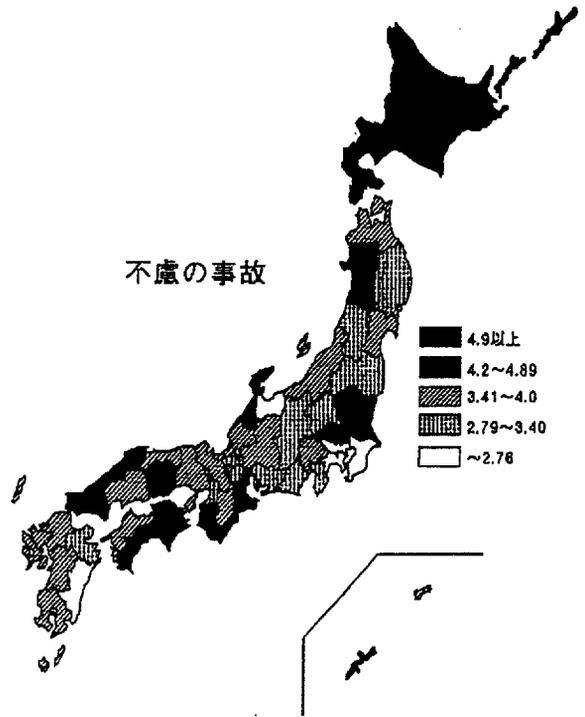


自動車事故

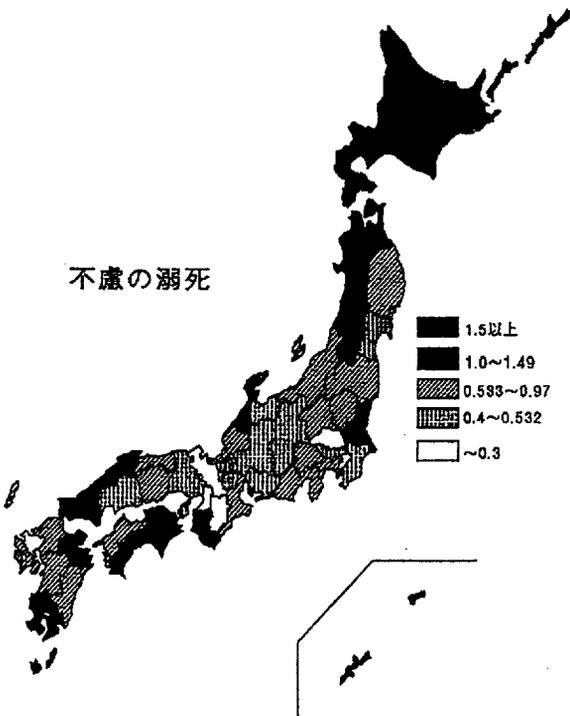


10~14歳 事故マップ

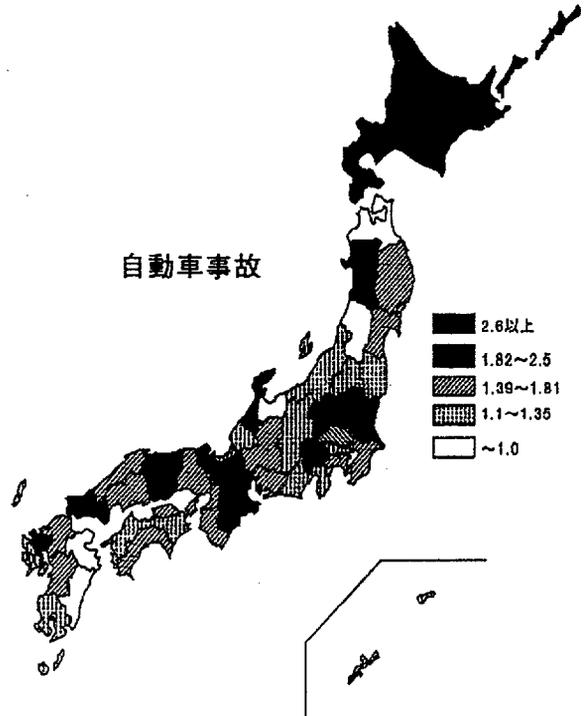
不慮の事故

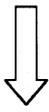


不慮の溺死



自動車事故





## 検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



要約:わが国における小児の事故の地域性を検討するために都道府県別の事故マップを作成して検討を行った。その結果、子どもの事故について、死亡率の高い県と低い県の差は年齢階級により多少異なるものの 2.6~3.9 倍の差がみられた。また、大都市圏のみられる都府県では死亡率が低い傾向にあった。その理由は救急医療体制と保護者の事故に対する認識の高いことなどが考えられたが結論は出せなかった。目標設定に際しては、子どもの事故による死亡率が高い県は少なくとも全国平均にまで下げることが大切と考えられた。これにより 10 年間で 0~14 歳で 2,134 人が救命可能であると試算された。今後は 5 年毎に目標を設定し、事故防止効果があったかをチェックするのが望ましいと考えられる。